

RYOBI®

エンジン高圧洗浄機

EJP-91

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のう
えで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

警告表示について	1
安全上のご注意	2～4
各部の名称	5
仕様、付属品	6～7
使用準備	8
ホースの脱着方法	9～10
始動	10～12
運転	12～13
終了	14
点検と整備	15～17
長期保管	17
故障かなと思ったら	17
薬剤散布について	18

このたびは、リョービエンジン高圧洗浄機をお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

警告表示について

●警告マーク

本機、および取扱説明書に警告マークを表示しています。
この表示マークの意味を十分ご理解のうえでご使用ください。

	給油時は必ずエンジンを停止すること。 火気の近くでは、絶対に燃料補給しないこと。		人、動物、壊れやすいものなどに向けて噴射しないこと。
	換気の悪い場所や建物の中では運転しないこと。		両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用すること。
	使用前に取扱説明書を最後まで必ずよく読むこと。		使用中や使用直後は、高温のためマフラー、エンジン本体、ポンプには触れないこと。



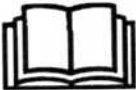



●警告ラベル

本機に次の警告ラベルが貼付けてあります。よく読み理解したうえで作業してください。

取扱い

- 警告ラベルに付いた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ警告ラベルを貼ってください。

貼付位置

△危険		△警告			△注意
					
火気厳禁					



注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様、必ず守ってください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

△ 警告

ご使用前は

1. 小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。
 - ・刃物などに当たり飛散して、作業者や周囲の人がけがをする原因になります。
2. 強風、雨のとき、および夜間は使用しないでください。
 - ・安全な作業ができないため、けがの原因になります。
3. 換気の悪い場所や建物の中では、絶対にエンジンを始動、運転しないでください。
 - ・一酸化炭素中毒の原因になります。
4. 次のような人、または状況下では使用しないでください。
安全な作業ができないため、けがの原因になります。
 - ・子供には使用させないでください。
 - ・生理中、妊娠中の人は使用しないでください。
 - ・疲れているとき、病気の時、酔っているときは使用しないでください。
 - ・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
 - ・機械の知識のない人や、他人の機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。
5. 無理な使用をしないでください。機械に無理がかかり、反動でけがをする原因になります。
 - ・機能に適さない使用をしないでください。
 - ・使用限界が示されているものは、必ずその使用範囲で使用してください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。安全に作業するための身だしなみです。
 - ・すそじまりのよい長そで、長ズボンを着用してください。
 - ・宝石や、物に引っかかりやすいものは、身に付けしないでください。
 - ・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽を着用してください。
 - ・長い髪は、肩までの長さに結わえてください。
 - ・足元保護のため、安全靴を着用してください。
 - ・耳栓、または耳覆いを付けてください。
 - ・手袋を着用してください。
7. 作業時は、保護メガネを着用してください。
 - ・着用していないと、切りくずなどが目に入り、けがの原因になります。
8. 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
 - ・着用していないと、粉じんを吸込み、病気の原因になります。
9. 始動する前に、取付けに用いたドライバやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
 - ・取外していないと、始動のはずみにドライバなどが飛び、けがの原因になります。
10. 各部の点検をしてください。損傷箇所やネジなどのゆるみがあると、けがの原因になります。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部の位置調整、および締付状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・使用前に、必ず各部のネジがゆるんでいないか、オイル、グリースが入っているか、漏れがないかを点検してください。



△ 警告

11. 本取扱説明書に記載されている純正部品以外のものを使用しないでください。
 - ・事故やけがの原因になります。
12. エンジンを回さないで、機械の操作方法を練習してください。
 - ・より安全に使用していただくためです。

○使用中は

13. 無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。
 - ・作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
 - ・作業は腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。
 - ・傾斜地の作業は、滑りやすいので足元に十分注意してください。
14. 次の場合は、エンジンを停止させてください。
エンジンを運転したままにしていると、けがの原因になります。
 - ・作業を中止したり、移動するとき。
 - ・作業中に機械から離れるとき。
 - ・付属品を交換するとき。
 - ・使用しない、または修理するとき。
 - ・機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
 - ・その他、危険が予想されるとき。
15. エンジンを始動するときは、次のことに注意してください。
始動と同時に刃物などが回転し、けがの原因になります。
 - ・周囲に人、動物、障害物などがいないかを十分確認してから始動してください。
 - ・しっかり機械を固定してください。
16. 作業はゆとりを持って行ってください。より安全に作業していただくためです。
 - ・取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
 - ・燃料を補給するとき、休憩するようにしてください。連続使用すると、振動により、白ろう病にかかる恐れがあります。
17. 作業中はもとよりエンジン停止直後は、マフラーやエンジン本体、ポンプなど高温部に触れないようにしてください。やけどや火災の原因になります。
 - ・マフラーやマフラー周辺に、可燃物を置いたまま、エンジンを運転しないでください。
18. 運転中は、点火プラグキャップや高圧コードに触れないでください。
 - ・感電の原因になります。



○燃料について

19. 燃料補給の際は、次のことを守ってください。
 - マフラー、排気ガスは高温であるため、燃料に引火し、やけどやけがの原因になります。
 - ・燃料補給は、必ずエンジンを停止させて、十分冷えてから行なってください。
 - ・火気の近くでは、絶対に燃料補給しないでください。特にタバコを吸いながらの作業は行なわないでください。
 - ・燃料はこぼさないように補給し、こぼれたときはふき取ってください。
 - ・補給後は、補給場所から3メートル以上離れて、エンジンを始動してください。



○ご使用後は

20. 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・機械の知識がない人が使用し、けがの原因になります。
21. 修理は、お買上げの販売店にお申し付けください。
修理の知識がない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - ・修理、調整をするときは、エンジンを停止し、点火プラグのコードを抜いてください。
 - ・損傷箇所がある場合は、修理してから収納してください。
 - ・この場合、部品、消耗品は、指定の純正部品を使用してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
 - ・保管時や輸送時は、燃料を抜いてください。また機械をしっかりと固定してください。

△ 注意

1. 燃料は、自動車用無鉛ガソリンを、必ず使用してください。
 - ・エンジンの焼付き、またはエンジン不調の原因になります。
2. 注意深く手入れをしてください。安全に能率よく作業していただくためです。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - ・長時間保管するときは、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を抜いてください。
 - ・各部を十分清掃し、金属部分には薄くオイルを塗ってください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、しゃ音壁を設けるなどしてください。

● 高圧洗浄機ご使用に際して

先にエンジン工具としての共通の注意事項を述べましたが、高圧洗浄機をご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

ご使用前は

1. 本機は水のかからない、水平で安定した場所に設置してください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
2. エンジン取扱いの詳細は、同梱のエンジン取扱説明書をお読みください。
 - ・ 安全に能率よくお使いいただくためです。
3. 高圧ホースと本機の接続部分は、確実に取付けてください。
 - ・ 確実に取付けていない場合は、作業中に脱落し、高圧水が吐出され、けがの原因になります。

ご使用中は

4. 噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがいないことを確認してから作業してください。
 - ・ ガンのノズルからは、非常に高圧の水が噴射され、けがなどの原因になり危険です。
5. 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。
6. 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
 - ・ 非常に高圧の水が噴射しているため、けがの原因になります。
7. ガンのレバーを、ひもや針金で固定して使用しないでください。
 - ・ とっさのときに噴射を停止することができず、けがの原因になります。
8. 作業を中断するときや、付属品のノズルなどを付替えるときは、ガンのレバーを放し、ガンのレバーにある安全装置をセットしてください。
 - ・ 誤ってガンのレバーを握ると、けがの原因になります。
9. 運転中に異常音、振動、異臭などが発生したときは、ただちに使用を中止して、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
10. 本機を動かすときに高圧ホース、または吸水ホースを引張らないでください。
 - ・ ホースが外れ、けがの原因になります。
11. 車のタイヤを洗浄するときは、ノズル先端から最低30cm以上離して洗浄してください。
 - ・ 接近しすぎた場合、タイヤを損傷し重大事故の原因となる場合があります。損傷、または表面の色が変色した場合にはただちに専門家に点検を依頼し、安全を確認後使用してください。



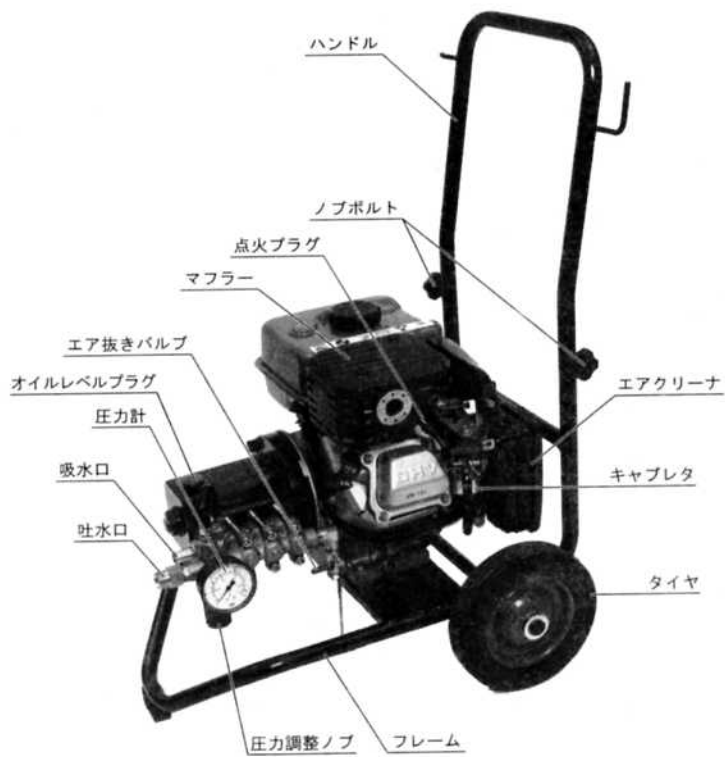
ご使用後は

12. エンジンを停止した後は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてください。
 - ・ 圧力が残っていると、ガンから高圧で残水が噴射され、けがの原因になります。
13. 高圧ホースをガンやポンプから外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。また噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがいないことを確認してから圧力を抜いてください。
 - ・ ホース内に水が残っているため、外したときに反動で、けがをする原因になります。

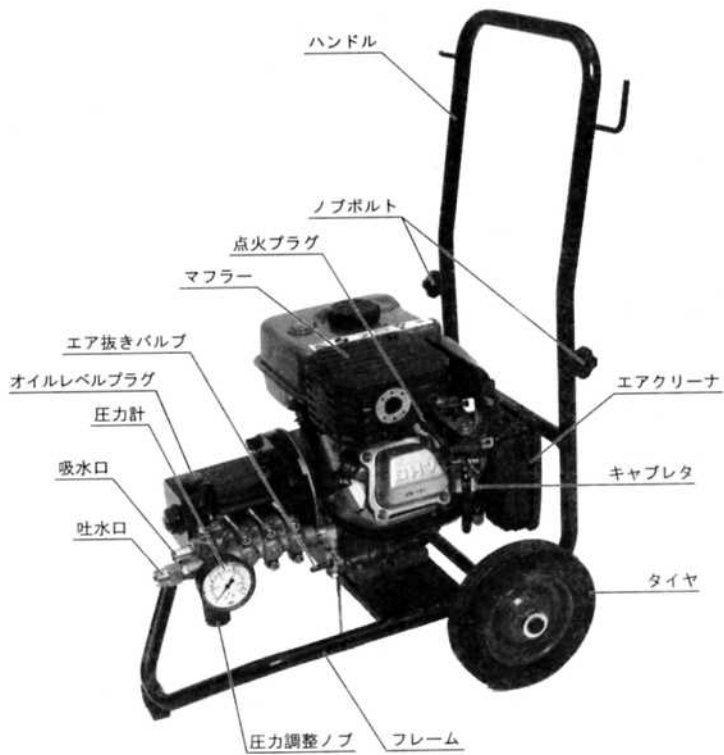
⚠ 注意

1. エンジン本体には、エンジンオイルは入っておりません。
 - ご使用前(組立時)に、必ず同梱のエンジンオイルを注入してください。
 - ・ エンジンオイルを注入しないまま使用すると、故障の原因になります。
2. エンジンオイル、ポンプオイルの点検を行なってください。
 - ・ 規定量入っていないと、焼付きなどの故障の原因になります。
3. ポンプ内に水がない状態で、1分以上運転しないでください。故障の原因になります。
 - ・ 運転した場合は、エンジンを停止させ、5分以上放置し、ポンプを充分冷却した後、運転を再開してください。
4. 噴射圧力は、最大圧力以下で使用してください。
 - ・ 故障の原因になります。
5. 本機を誤って落としたり、ぶついたりしないでください。故障の原因になります。
 - ・ 落としたりした場合は、本機に異常がないか確認した後使用してください。
6. 海水を使用したり、薬物散布後は、十分に清水を吸入、噴射させ、洗い流してください。
 - ・ ポンプ、ホース、およびノズル内に薬物などが残留していると、故障の原因になります。
7. 凍結の恐れがある地域では、ポンプ、および高圧ホースの水を抜き、充分陰干しの後、収納してください。また、0℃以下になる場所には保管しないでください。
 - ・ 水が凍り、故障の原因になります。
8. エンジンオイル、ポンプオイルの交換は、取扱説明書の指示に従い、定期的に行なってください。
 - ・ 故障の原因になります。

各部の名称



各部の名称



仕様、付属品

●仕様

型 式		E J P - 9 1	
ポンプ	形 式		横型3連パワーフロー式
	許 容 水 温	°C	60 以下
	オ イ ル 容 量	ℓ	0.37 (自動車用エンジンオイル SAE 10 W - 30)
エンジン	形 式		空冷4サイクル傾斜方横軸・OHVガソリンエンジン
	排 気 量	cc	126
	連 続 定 格 出 力	PS/r.p.m.	2.2 / 3,600
	最 大 出 力	PS	4.0
	最 大 ト ル ク	kg·m/r.p.m.	0.78 / 2,800
	キャブレタ		フロート式
	点 火 方 式		無接点マグネット点火
	スパークプラグ		NGK BP5ES
	始 動 方 式		リコイルスタータ
	オ イ ル 容 量	ℓ	0.6 (自動車用エンジンオイル SAE 10 W - 30)
能 力	圧 力	kgf/cm ²	90 (約 90 bar)
	水 量	ℓ/min	10.5
燃 料	使 用 燃 料		自動車用無鉛ガソリン
	タンク容量		2.0 (連続運転、約2時間)
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	644 × 440 × 830
重 量		kg	30.4

※記載重量には、ガン、高圧ホース、吸水ホース、ストレーナ、高圧扇形ノズル、ホースバンド、燃料を含んでおりません。

●通常付属品(箱をあけましたら、以下のものがそろっているかよくお確かめください。)

●ガン



●高圧ホース(8m)

●高圧扇形ノズル

扇形(角度15°)の高圧の噴射を行ないます。



●吸水ホース

(3m×内径φ15mm)



●ストレーナ



●ホースバンド(2個)



●エンジンオイルボトル



●プラグレンチ



●⊕ドライバ



●ノブボルト



●別販売品

●洗淨ブラシ

洗剤を使った洗車をはじめ、各種器具などのブラシ洗淨に使います。



●回転ブラシ

水圧により、内側のブラシが回転し、窓や自動車のボディなどの、広い面積のブラシ洗淨を高速で行ないます。



●延長ランス

各種先端のブラシ、ノズル類の取付け長さを延長して使用できます。



●パイプクリーニングキット

ホースの先端から、高圧水を逆噴射することにより、パイプの中を進みながら洗淨を行ないます。



●延長高圧ホース（8m, 20m）



●ケミカルフィルター

洗剤液や薬剤をバケツなどから吸入するためのフィルターです。



●ターボノズル

高圧直進ノズルを回転させて、洗淨効率を大幅に向上させ、広い面積の洗淨を、能率よく行なうことができます。



●サンドブラストキット

噴出する水に直径約0.25～2.5mmの砂を混入させ、高圧水だけでは落ちないサビ、貝殻、ペンキや海藻落としなどを行ないます。



●高圧直進ノズル

直進（角度0°）の高圧噴射を行ないます。遠くにあるものの洗淨、および局部への高圧洗淨に効果的です。



●洗剤噴射ノズル

バリエブルノズルと洗淨タンクが一体となったノズルです。上部のダイヤルを操作することにより、洗剤の吐出量が調整できます。洗剤の他、薬剤（液）の使用にも使えます。



●洗剤吸入ホース

洗剤液や薬剤をバケツなどから吸入するためのホースです。上部のダイヤルを操作することにより、吸上げる量を調整できます。



●ケミカルインジェクター

洗剤液や薬剤をバケツなどから吸上げ、水と一緒に混合し、噴射させます。リングを操作することにより、吸上げる量を調整できます。



リング

使用準備

●ハンドルの取付け

1. ハンドルを、フレームの奥まで差込んでください。
(注)ハンドルは、反っている方を手前にしてください。
2. 両方のノブボルトを締付け、ハンドルを固定してください。



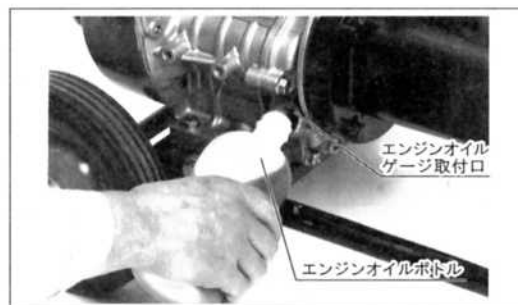
●エンジンオイルの注入

[初めての使用]

△ 注意

・エンジンオイルが注入してありません。使用前に、必ず同梱のエンジンオイルを注入してください。

- エンジンオイルボトルにオイルが残留しないように、全量をエンジンオイルゲージの取付口より注入してください。



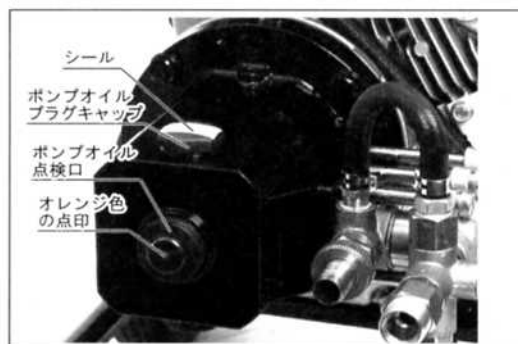
[2回目からの使用]

- エンジンオイルゲージをねじ込まない状態で差込み、オイルが規定量あるか確認してください。
- 万一、不足している場合は補充してください。
- 交換時期はP.15～P.16を参照してください。



●ポンプオイルの点検

- 初めて使用される場合は、ポンプオイルプラグキャップに貼付けてあるシールをはがしてください。
- ポンプオイル点検口をのぞき、中央のオレンジ色の点印より上までオイルがあるか確認してください。
- 万一、不足している場合は補充してください。
- 交換はP.15を参照してください。



ホースの脱着方法

●吸水ホース

取付け方

1. 吸水ホースにホースバンドを通し、本体の吸水口に奥まで差込んでください。
(注)吸水ホース、吸水口にゴミや泥などが付いていないか確認してください。
2. 吸水口と吸水ホースをはさむ位置で、ホースバンド締付ネジを、お手持ちの⊖ドライバーで締付けてください。

外し方

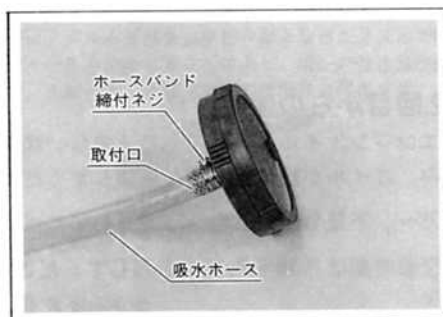
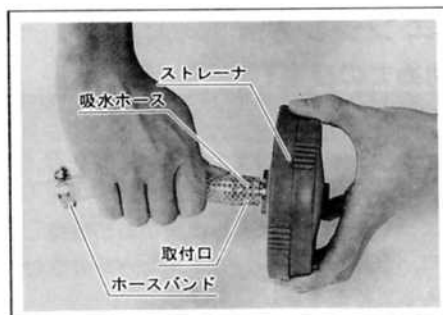
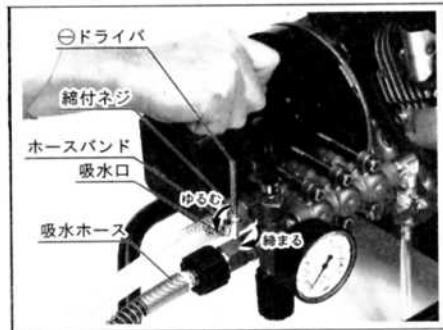
- ホースバンド締付ネジをゆるめ、吸水ホースを外してください。

ストレーナの取付け方

1. 吸水ホースのもう一方にホースバンドを通し、ストレーナの取付口に奥まで差込んでください。
(注)吸水ホース、ストレーナの取付口にゴミや泥などが付いていないか確認してください。
2. 取付口と吸水ホースをはさむ位置で、ホースバンド締付ネジを、お手持ちの⊖ドライバーで締付けてください。

水道から吸水する場合

1. 蛇口から毎分10ℓ以上の水が出るか確認してください。
2. 吸水ホースのもう一方にホースバンドを通し、蛇口に差込んでください。
3. 蛇口と吸水ホースをはさむ位置で、ホースバンド締付ネジを、お手持ちの⊖ドライバーで締付けてください。



●高圧ホース

⚠ 警告

- ・高圧ホースをポンプから外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。
- ・噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがいないことを確認してから、圧力を抜いてください。

取付け方

- 高圧ホースのクイックカブラを本体の吐水口に差込み、クイックカブラを最後まで回して、しっかりと締付けてください。
(注)高圧ホースのクイックカブラ、本体の吐水口にゴミや泥などが付いていないか確認してください。

外し方

- 高圧ホースのクイックカブラをゆるめ、高圧ホースを外してください。



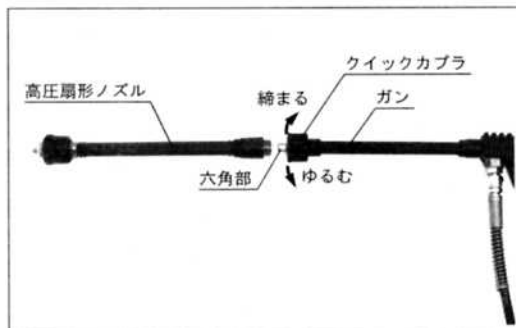
●高圧扇形ノズルの取付け

取付け方

- ガンの先端に付いたクイックカブラの六角部に、高圧扇形ノズルの六角穴を合わせて差込み、クイックカブラを最後まで回して、しっかりと締付けてください。

外し方

- ガンのクイックカブラをゆるめ、高圧扇形ノズルを外してください。



始動

燃料タンクに燃料(自動車用無鉛ガソリン)を入れてください。

(注)・こぼれた燃料はふき取ってください。

・購入後、2～3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

1. ガンのレバーにある、安全装置を引出し、止め位置にセットしてください。



2. ストレーナをたまり水に完全に水没させてください。

(注)たまり水の中に、ゴミや沈澱物がないようにしてください。

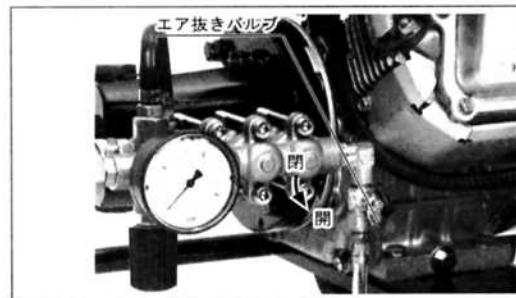
ストレーナにつまり、吸水ができなくなります。

水道の蛇口から吸水する場合は、十分に蛇口を開いてください。

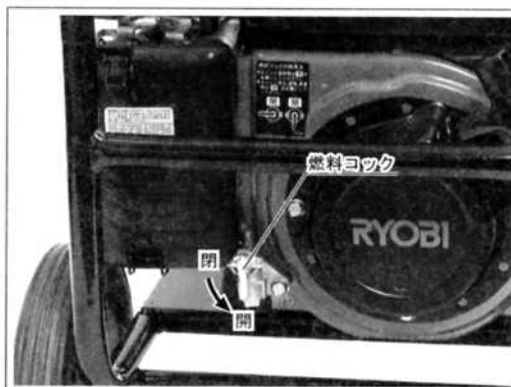


3. ポンプのエア抜きバルブを開いてください。

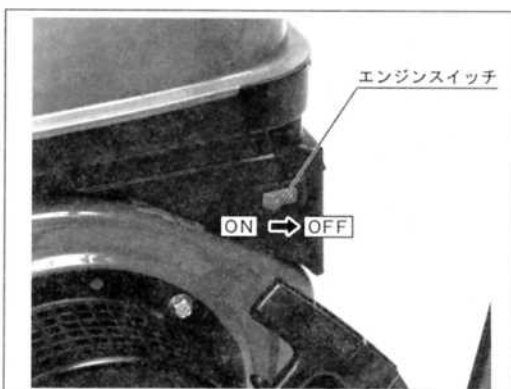
※ポンプ内に圧力が残っていると、エンジンの始動が困難な場合があります。



4. 燃料コックを開いてください。



5. エンジンスイッチを **ON** (Iの位置) にしてください。



6. 操作レバーを低速(🐢)から高速(🐇)の方へ、 $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ くらい開いてください。

7. チョークレバーを全閉にしてください。
(エンジンが暖まっているときも、チョークレバーを全閉にしてください。)



8. リコイルスタータノブを握り、圧縮位置(少し重くなる所)まで軽く引き、この位置から勢いよく引張ってください。
エンジンが始動したら、リコイルスタータノブをゆっくりと元の位置に戻してください。

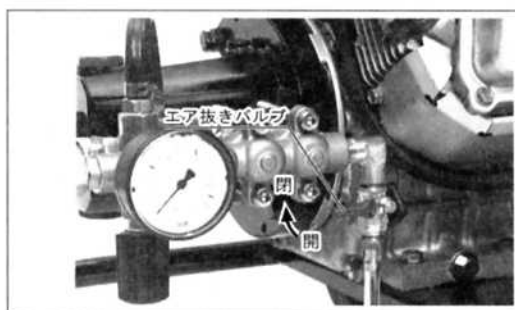


9. エンジンの調子をみながら徐々にチョークレバーを全開にした後、操作レバーを低速(←)にし、低速運転(アイドリング)をしてください。



10. エア抜きバルブから完全に空気が抜け、水が連続して出てくるようになったら、エア抜きバルブを閉じてください。

11. 操作レバーを低速(←)から高速(→)の方へ $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ くらい開き、暖機運転(約5分間)を行なってください。



運 転

● 運転

⚠ 警 告

- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがいないことを確認してから作業してください。
- ・ 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。
- ・ 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
- ・ ガンのレバーを、ひもや針金で固定して使用しないでください。
- ・ 使用中、製品は熱くなります。使用中や使用直後に手で触れたり、水をかけたりしないでください。
- ・ マフラーやマフラー周辺に可燃物を置いたままエンジンを運転しないでください。

1. 暖機運転終了後、操作レバーを高速(→)にしてください。



2. ガンのレバーの安全装置を解除し、レバーを引くと、ノズル先端より高圧水が噴射されます。
(注)ガンに水が届くまで、しばらくの間噴射しません。



●噴射状態の変更

- 散水に使用する場合、または別販売品のケミカルインジェクターを使用する場合は、高圧扇形ノズルの先端を回してください。

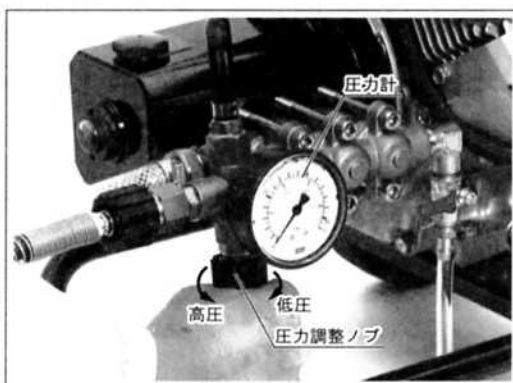


●圧力調整

⚠ 警告

- ・水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。

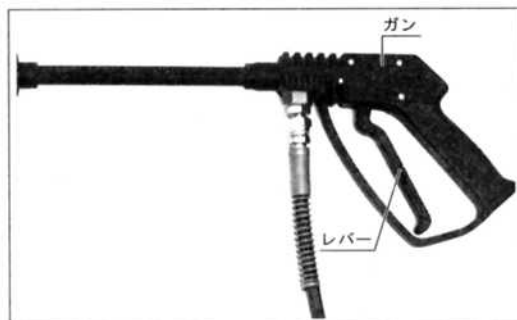
- ポンプの最大圧力は $90\text{kgf}/\text{cm}^2$ で設計されています。
使用中、時々圧力計を確認し、上記圧力以下で使用するよう、圧力調整ノブを調整してください。
(注)指示以上の圧力で使用すると故障します。



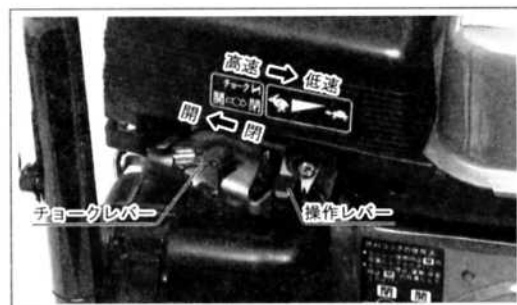
警告

- ・ 高圧ホースをポンプから外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。
- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがいないことを確認してから、圧力を抜いてください。

1. ガンのレバーを放し、噴射を停止してください。



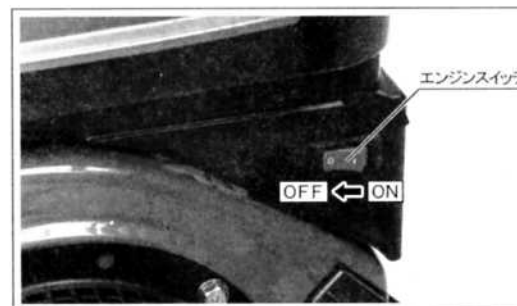
2. 操作レバーを低速(☛)にして低速運転(アイドリング)を1分以上続け、エンジンを冷やしてください。



3. たまり水からストレーナを引出してください。

4. 高圧ホース内に高圧がかかっていますので、一度ガンのレバーを握り、圧力、残水を抜いてください。

5. エンジンスイッチを **OFF** (Oの位置) にしてください。



6. 燃料コックを閉じてください。

7. 高圧ホース、吸水ホースを外し、各ホースの水抜きを行なってください。

(注)凍結の恐れのある地域では、ポンプ内、および高圧ホース内の水を抜き、十分陰干しをした後、収納してください。



点検と整備

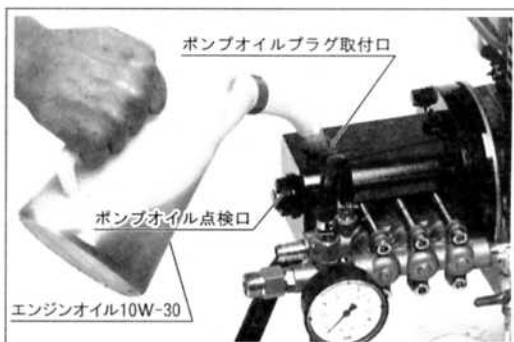
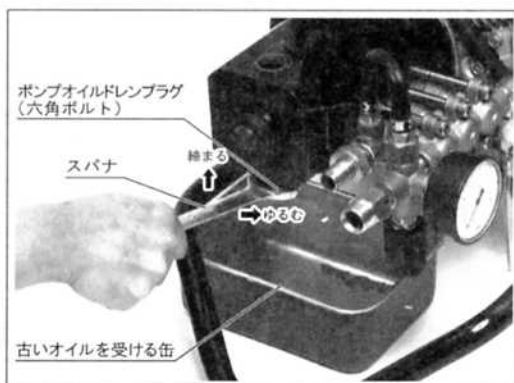
お買い上げいただきました高圧洗浄機を、いつまでも調子よく保つために、定期点検を行なってください。

点検項目	点検時間	作業前	50時間毎	100時間毎
ポンプオイル		○(点検)		○(交換) 初回25時間
エンジンオイル		○(点検)	○(交換) 初回25時間	
エアクリーナ		○(点検)		
インラインストレーナ		○(点検)		

●ポンプオイル

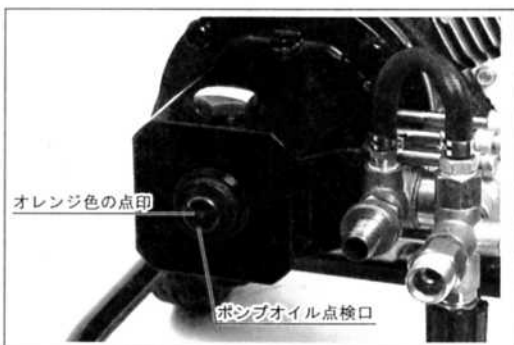
オイルを暖かいうちに抜き取り、新しいオイルを入れてください。

1. 新しいエンジンオイル(API分類SD級以上、SAE分類10W-30、370cc)を準備してください。
2. 古いオイルを受ける缶を、ポンプオイルドレンプラグ(六角ボルト)の下に受け、プラグをお手持ちのボックスレンチ、メガネレンチ、またはスパナで外し、オイルを抜いてください。
このとき、ポンプオイルプラグを外すと、早く抜けます。
3. 古いオイルが抜けたことを確認したら、ポンプオイルドレンプラグ(六角ボルト)を、スパナなどでしっかり締め付けてください。
4. 新しいオイルをポンプオイルプラグの取付口より注入してください。



その後ポンプオイル点検口をのぞき、中央のオレンジ色の点印より上までオイルがあるか確認してください。

万一、不足している場合は補充してください。



●エンジンオイル

オイルが暖かいうちに抜き取り、新しいオイルを入れてください。

1. 新しいエンジンオイル(API分類SD級以上、SAE分類10W-30、600cc)を準備してください。
2. 古いオイルを受ける缶を、エンジンオイルドレンプラグ(六角ボルト)の下に受け、プラグをお手持ちのボックスレンチ、メガネレンチ、またはスパナで外し、オイルを抜いてください。
このとき、エンジンオイルゲージを外すと、早く抜けます。
3. 古いオイルが抜けたことを確認したら、エンジンオイルドレンプラグ(六角ボルト)を、スパナなどでしっかり締付けてください。
4. 新しいオイルをエンジンオイルゲージの取付口より注入してください。

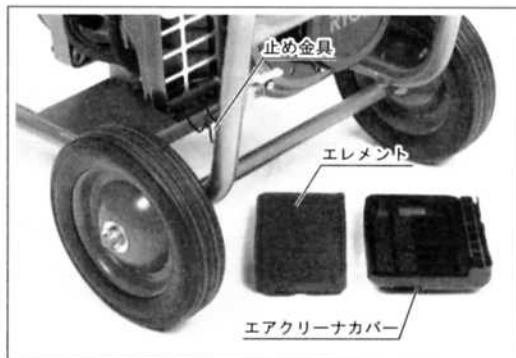


5. エンジンオイルゲージをねじ込まない状態で差込み、オイルが規定量あるか確認してください。
万一、不足している場合は、補充してください。



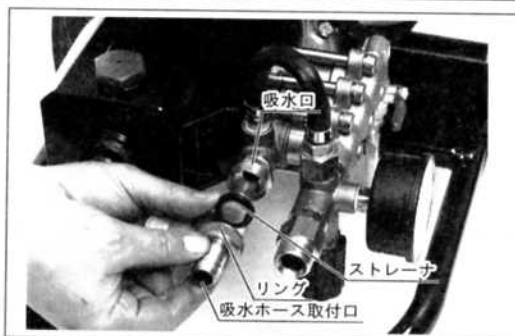
●エアクリーナ

1. 使用前、エアクリーナカバーの止め金具を外し、エアクリーナカバー、エレメントを取出してください。
2. エレメントが汚れているとき、オイル分がなく乾いているときは、ガソリンで洗浄してエンジンオイルに浸し、片手で軽く絞って、元の位置に組付けてください。



●インラインストレーナ

1. 吸水ホース取付口のリングをゆるめ、取付口を外してください。
2. インラインストレーナ（金網が取付けてあるキャップ）を外し、水で網目のつまりを取るよう洗ってください。
3. インラインストレーナを元のように取付けてください。
4. 吸水ホース取付口を元のように取付けてください。



長期保管

本機を30日以上使用しない場合は、下記の方法で保管してください。

1. キャブレタ内の燃料を、燃料ドレンより排出するとともに、燃料コックより燃料タンクの燃料を抜いてください。
2. スパークプラグを外して、シリンダ内にエンジンオイルを少量(約10cc)注入し、リコイルスタータを数回引き、再びスパークプラグを取付け、再度リコイルスタータを圧縮のある所まで引いて止めてください。
3. エンジンオイル、ポンプオイルを点検し、汚れているときは交換し、不足しているときは補充してください。
4. 外面を油のしみた布で清掃し、乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
(ほこりがかからないように、カバーなどをして置いてください。)

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックにそって点検を行なってください。

●エンジンの主な故障と原因

故障	原因	対策
始動困難	エアクリーナエレメントの目詰り	点検、清掃
	フューエルフィルターホースの詰り	点検、清掃
	キャブレタ不良(ポート、ジェット類の詰り)	点検、清掃
	イグニッションコイル(含ユニット)不良	点検、交換
	点火プラグ不良	点検、清掃
運転不調	ガバナ調整不良	点検、調整
	バルブクリアランス不良	点検、調整

●ポンプの主な故障と原因

故障	原因	対策
圧力が上がらない	ノズル部に異物が混入	点検、清掃
噴射状態が悪い	吸水量の不足、不安定	吸水ホース、ストレーナの点検、清掃 たまり水の水量点検、補給
水を吸込まない	ポンプ内に異物が混入	点検、清掃
異音がする	たまり水の位置不良	点検、調整 ポンプとたまり水へのヘッド差2m以内 吸水ホースの長さ3m以内

●これらのチェックを行なっても、正常に運転できない場合は、販売店にご相談ください。

薬剤散布について

ここでは、薬剤散布方法を記載します。

●使用可能な薬剤の種類について

- 薬剤は、園芸用以外のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、油、ゾール系、塗料、防疫用薬品、畜産用薬品など)は、絶対に使用しないでください。

使用できる薬品(園芸用)

- 水和剤系——硫黄水和剤、ヤンブタン(オーソサイド)、マンネブダイセンM、カラセン、ジネブトツブジン、トリアジン、ダイアジノン、ダイホルタン、クサトール、モレスタン、ベントーレ、ダイセンテナボンなど
- 乳剤系——コシン油乳剤、バイジェット、リンデン、スマイト、ディブテレックス、EPN、防虫菊、スミチオン、ジメートエイト、スプラサイト、ODVP、カルホス、フェンカプトン、サンソー、アカール、デナボン、2-4D、ダイアジノン、マラソン、硫黄ニコチン、グラモキソンなど

使用できない薬品

〈園芸用〉粉剤系、粒剤系の薬品は使用できません。

〈園芸用以外〉畜産用薬品、防疫用殺菌、殺虫剤を使用すると、ポンプが故障することがあります。

- 油剤系の例——クロルデン、バイテックス、フマキラ、マリANCH、デイレンドリン、アース、DDT、DVP、フェントロチオン、リンデンなど
- 水溶液の例——ホルマリン、オールソー、逆性石けん液など
(注)上記の薬品につきましては、必ずメーカーに問い合わせをした後、使用するようになしてください。

●運転準備

- 薬品を完全に液化させ、こし網などでこした後、その薬品の入っている容器の中に、ストレーナを完全に水没させてください。

使用方法は、通常と同じ方法で使用してください。(P10からP14参照)

(注)ポンプやノズルの故障を防ぐため、必ずストレーナを使用してください。

●運転の終了

- 薬剤散布後は、ポンプ、ホース、およびノズル内に薬剤が残留しないように、十分に清水を吸入、噴射してください。

△ 注意

- 海水を使用したり、薬剤散布後は、十分清水を吸入、噴射させ、洗い流してください。

部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI 発売元
リョービ販売株式会社

製造元
リョービ株式会社